

6章 実践技術単位制度の全校展開

6. 1 実践技術単位制度の全学科展開

学生主事 久保田圭司

p. 6-1

6. 2 実践技術単位可視化サーバの導入

電気情報工学科 田島孝治

p. 6-4

本校APのもう一つの特徴である、電気情報工学科で10年以上実施してきた実践技術単位制度の全校展開を目指しました。従来の実践技術単位は、主に非教育課程活動の成果の可視化を目指したものでしたが、これを全校展開すると共に、教育課程学習による総合的な学修成果の可視化にも活用可能とし、展開していきます。

6章 実践技術単位制度

6.1 実践技術単位制度の全学科展開

6.1.1 全学共通制度の展開

26年度の報告書でも示したように、本校では電気情報工学科が平成12年度から実践技術単位制度を導入し、非教育課程活動をポイント制により可視化する仕組みを築いてきた。今回本校が取り組んできた教育AP事業では、電気情報工学科が実践している実践技術単位制度を教育課程科目へ展開し、さらには全学展開することにより、高専の工学教育全体の学習成果の可視化を推進することが目標の一つとなっている。

実施初年度の26年度においては、電気情報工学科が推進してきた実践技術単位制度を全学展開するために、全学共通ポイント制度の設定を進め、実践技術単位制度のルーブリックを確定することを目指した。

これを受けて、実施2年目となる27年度は、実践技術単位制度を環境都市工学科で準備し、遅くとも29年度までに機械工学科・電子制御工学科・建築学科を含む全学で準備確定する展開を当初は想定していた。幸いなことに予想以上の速度で作業が進み、環境都市工学科に加えて上記3学科でも準備が完成し、表6.1に示す全学で統一された「実践技術ポイント表(案)」を確定した。

6.1.2 全学共通制度にするための検討事項

今回、実践技術ポイント制度として、この実践技術単位制度を全学科向けに拡張し、展開した。拡張にあたっては、次の点に考慮した。

(1) 単位の区分と各科認定を明記する

これまでの制度で認定するポイントは、電気情報工学科として身に着けておく知識や技術に基づいて設定されていた。新たなポイント制度では、機械設計技術者試験や、土木技術者試験、建築士試験など多分野に渡る資格がポイントの取得対象となっている。一方で、本校が独自で実施している「ものづくりリテラシー教育実習」や高専祭専門展での表彰などもポイントの取得対象である。これらを一度整理し、学生が自身の得意分野から、ポイントの対象項目を探しやすくなるようにした。さらに、各学科が推奨しているポイントを明示するため、すべてのポイント項目に対して、学科認定の有無を決定した。各学科では、卒業研究配属等の必要に応じて学科認定ポイントのみを用いる。

(2) カテゴリーを設け、身に着けた力を示す

新制度では、ポイント項目に対して、(A)基礎的能力、(B)専門的能力、(C)汎用的技能、(D)態度・志向性(人間力)、(E)総合的な学修経験と創造的思考力という五つのカテゴリーを設け、その比率を決定している。例えば、TOEICであれば(A)が100%、ロボットコンテストであれば(B)と(E)にそれぞれ50%というように設定した。取得したポイントとカテゴリーの割合を乗算することで、自らがどのカテゴリーに対して強みがあるかをわかるようにしている。

(3) 可視化用のサイトとデータベースを整備する

これまでの制度では、取得したポイントを学生が申請書に記入の上、年に5回ある申請期間に学科教員に提出し、教員がこのポイントを集計して表を作り学科ホームページで学内向けに掲示していた。新制度では申請人数も増えることから、学生が自ら申請できるようなWebサイトを構築し、ここで自分の獲得ポイントと、クラスや学科内での位置づけを確認できるようにした。また、登録内容はデータベースを用いて集計し、単位取得の傾向分析などが容易に行えるようにした。

表6.1 実践技術単位ポイント表(案)

区分	名称	管理団体	内容	各評定					教育区分		カテゴリー		
				M	E	D	C	A	基礎的能力	専門的能力	応用的技能	態度・志向性(人間力)	総合的な学修経験と創造的思考力
専攻専修	専攻専修大会	国立高専機構	個人競技(各種目):地区大会参加[1]、地区大会3位以内入賞[3]、全国大会参加[3]、全国大会3位以内入賞[4] 団体競技:地区大会参加[1]、地区大会優勝[2]、全国大会参加[3]、全国大会優勝[4] シミュレーション部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] スピーチ部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3]	○	○	○	○	○				100%	
	高専英語プレゼンテーションコンテスト	国立高専機構	スピーチ部門:地区大会参加[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] スクリプト部門:地区大会参加[4]、全国大会参加[6]、全国大会3位以内入賞あるいは受賞[8]	○	○	○	○	○			50%		50%
	高専ロボットコンテスト	国立高専機構	ロボコン部門:地区大会参加[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] 有志チーム:地区大会参加[4]、全国大会参加[6]、全国大会3位以内入賞あるいは受賞[8]	○	○	○	○	○			50%		50%
	高専プログラミングコンテスト	国立高専機構	競技部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] 課題部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3]	○	○	○	○	○			50%		50%
	高専デザインコンペティション	国立高専機構	3Dモデリング部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] CAD部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] 熱線デザイン部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3] 空間デザイン部門:エントリー[1]、全国大会参加[2]、全国大会入賞[3]	○	○	○	○	○			50%		50%
	高専3Dプリンタコンテスト	国立高専機構	全国大会参加[1]、全国大会3位以内[2]	○	○	○	○	○			50%		50%
	校外実習	岐阜高専	5日につき[1]	○	○	○	○	○			50%		50%
	岐阜専攻専修表彰 学級指導者賞	岐阜高専	5日かつ30時間につき[1](そのすぐリテラシー単位数に準拠)	○	○	○	○	○			50%		50%
	岐阜専攻専修表彰 成績優秀者	岐阜高専	表彰[1]	○	○	○	○	○			50%		100%
	岐阜高専 若葉表彰(校長表彰でないもの)	岐阜高専	表彰[1]	○	○	○	○	○			50%		20%
岐阜高専	高専専門展	岐阜高専	参加[1]、技術賞[1,2]、プレゼンテーション賞[1,2]	○	○	○	○	○			50%		50%
	読書感想文コンクール(自由投稿文・イラスト・マスクットキャラクター)	岐阜高専	参加[0.5]、最優秀賞[1.5]、優秀賞[1]、佳作[0.7]	○	○	○	○	○			50%		50%
	ブックハンティング	岐阜高専	参加[0.5]	○	○	○	○	○			50%		50%
	学生会役員	岐阜高専	立候補[0.5]、当選[1]	○	○	○	○	○			100%		100%
	養生役員	岐阜高専	立候補[0.5]、当選[1]	○	○	○	○	○			100%		100%
	M&Sリーダーズ	岐阜高専	登録[1年]0.5	○	○	○	○	○			100%		100%
	サイエンスボランティア	岐阜高専	一件につき[1]	○	○	○	○	○			50%		50%
	機械製図検定	全国工業高等学校長協会	合格[1]	○	○	○	○	○			50%		50%
	計算技術検定	全国工業高等学校長協会	1級[2]	○	○	○	○	○			100%		100%
	情報技術検定	全国工業高等学校長協会	2級[1]、1級[3]	○	○	○	○	○			100%		100%
学会	パソコン利用技術検定	全国工業高等学校長協会	1級[2]	○	○	○	○	○			100%		100%
	論文	各学会	一編につき[2]、論文賞[8]	○	○	○	○	○			100%		100%
	学芸発表	各学会	一件につき口頭発表連名[1]、口頭発表発表者[2]、発表賞[5]	○	○	○	○	○			100%		20%
	各種学会コンテスト入賞	各学会	その都度、審議の上決定	○	○	○	○	○			40%		20%
	電気学会高校生懸賞論文コンテスト	電気学会	論文投稿[1]、受賞[4]	○	○	○	○	○			50%		50%
	実用英語技能検定	国際ビジネスコミュニケーション協会	3級[1]、準2級[2]、2級[3]、準1級[5]、1級[8] 300点以上[1]、400点以上[2]、470点以上[3]、600点以上[4]、730点以上[5]、780点以上[6]、820点以上[7]、860点以上[8]	○	○	○	○	○			100%		100%
	TOEIC	国際教育交換協議会	400点以上[1]、450点以上[2]、475点以上[3]、500点以上[4]、550点以上[5]、600点以上[6]	○	○	○	○	○			100%		100%
	TOEFL iBT	日本工業英語協会	4級[1]、3級[2]、2級[5]、1級[8]	○	○	○	○	○			50%		50%
	工業英語能力検定	国際算数・数学能力検定協会	3級[1]、2級[2]、1級[3]	○	○	○	○	○			100%		100%
	国際算数・数学能力検定	日本数学検定協会	3級[1]、準2級[2]、2級[2]、1級[3]	○	○	○	○	○			100%		100%
基礎科目	実用数学技能検定	日本数学検定協会	その都度、審議の上決定	○	○	○	○	○			100%		100%
	実用数学技能検定 グランプリ 受賞	日本漢字能力検定協会	3級[1]、準2級[2]、2級[3]、準1級[4]、1級[5]	○	○	○	○	○			100%		100%
	日本語能力検定	日本国際教育支援協会	4級[1]、3級[2]、2級[3]、1級[4](留学生のみ認定)	○	○	○	○	○			100%		100%
	日本語能力試験	日本理科学検定協会	準2級[1]、2級[1]、1級[2]	○	○	○	○	○			100%		100%
	日本理科学検定	ドイツ語学検定協会	4級[2]、3級[4]、2級[6]、1級[8]	○	○	○	○	○			100%		100%
	ドイツ語技能検定	フランス語教育振興協会	5級[1]、4級[2]、3級[4]、2級[6]、準1級[7]、1級[8]	○	○	○	○	○			100%		100%
	実用フランス語技能検定	日本語協会	4級[2]、3級[4]、2級[6]、1級[8]	○	○	○	○	○			100%		100%
	スペイン語技能検定	日本中国語協会	準4級[1]、4級[2]、3級[4]、2級[6]、準1級[7]、1級[8]	○	○	○	○	○			100%		100%
	中国語検定												

表6.1 実践技術単位ポイント表(案)

区分	名称	管理団体	級等(認定する実践技術ポイント)	教育区分		各級認定					カテゴリ			
				教育課程	非教育課程	M	E	D	C	A	汎用的技能	態度・志向性(人間力)	総合的な学修経験と創造的思考力	
専門	技術士1次試験合格	日本技術士会	合格[5]									100%		
	危機物回収扱扱	消防試験研究センター	乙種1類~乙種6類および預種 各[1]									100%		
専門	環境社会検定試験(eco検定)	東京商工会議所	合格[1]									100%		
	CAD利用技術者試験	コンピュータソフトウェア協会	2級[1]									100%		
専門	機械設計技術者試験	日本機械設計工業会	3級[5]									100%		
	電気主任技術者	電気技術者試験センター	理論、電力、機械、法規の各科目、第3種合格[2]、第2種一次合格[3]									100%		
専門	電気通信主任技術者(伝送交換)	日本電気通信協会	法規、伝送交換設備及び設備管理、専門的能力、電気通信システムの各科目合格[2]									100%		
	電気通信主任技術者(線路)	日本電気通信協会	法規、線路設備及び設備管理、専門的能力、電気通信システムの各科目合格[2]									100%		
専門	工事担任者	日本電気通信協会	AL、DDの各科目、第3種[2]、第2種[2]、第1種[3]、AI+DD総合種[6]									100%		
	電気工事士	電気技術者試験センター	筆記試験合格者、第2種[2]、第1種[2]									100%		
専門	アマチュア無線技士	日本無線協会	4級[1]、3級[2]、2級[3]、1級[4]									100%		
	陸上無線技術士	日本無線協会	第二級試験科目合格、各科目につき[1]、第二級試験合格[4]、第一級試験科目合格、各科目につき[2]、第一級試験合格[8]									100%		
専門	陸上特殊無線技士	日本無線協会	第二級[1]、第一級[2]									100%		
	海上特殊無線技士	日本無線協会	第二級[1]、第一級[2]									100%		
専門	タイピング技術検定	イータイプニング株式会社	2級[1]、1級[2]									100%		
	IPA試験(ITパスポート、基本情報、応用情報)	情報処理推進機構	ITパスポート合格[1]、基本情報合格[5](ITパスポート試験)の上位の資格とする。)、応用情報合格[3](基本情報技術者試験の上位の資格とする。)									100%		
専門	デジタル技術検定	実務技能検定協会	4級[1]、3級[2]、2級[3]									100%		
	情報検定(小検)	専修学校情報振興会	情報活用試験、試験[1]									100%		
専門	CGエンジニア検定	画像情報教育振興協会	情報システム試験、基本スキル、プログラミングスキル、システムデザインスキル、各種[1]									100%		
	CGエンジニア検定(CG部門)	画像情報教育振興協会	ペーシック[1]、エキスパート[2]									100%		
専門	画像処理エンジニア検定(CGエンジニア検定画面)	画像情報教育振興協会	ペーシック[1]、エキスパート[2]									100%		
	マルチメディア検定	画像情報教育振興協会	ペーシック[1]、エキスパート[2]									100%		
専門	測量士、測量士補	公益社団法人、日本測量協会	測量士補[2]、測量士[4]									100%		
	土木技術者	土木学会	2級[2]									100%		
専門	土木施工管理技術検定	一般財団法人、全国建設研修センター	2級(学科試験のみ)[2]									100%		
	公害防止管理者	一般社団法人、産業環境管理協会	水質、大気、騒音、粉じんなど13区分、各[1]									100%		
専門	ヒートアップ管理士資格	公益財団法人、日本生態系協会	ヒートアップ計画管理士、2級[1]、1級[2]									100%		
	3R-低炭素社会検定実務士委員会	3R-低炭素社会検定実務士委員会	3R部門、リーダー[0.5]、リーダー-ゴールド[1]									100%		
専門	宅地建物取引士	一般財団法人、不動産流通取引推進機構	宅地建物士資格、合格[6]									100%		
	カラーコーディネーター	東京商工業振興会	2級[2]、3級[1]									100%		
専門	色彩検定	公益社団法人、色彩検定協会	2級[3]、3級[2]									100%		
	福祉環境コーディネーター	公益社団法人、色彩検定協会	2級[3]、3級[2]									100%		
専門	建築CAD検定	一般社団法人、全国建築CAD連盟	3級[2]									100%		
	パソコン検定試験(P検)	P検協会	準2級[2]									100%		
専門	ICTスキル検定	Link Academy	1級[2]									100%		
	きら、建築・生活・芸術系学生、生徒優秀作品展	日本建築学会、建築支援部、岐阜支所	優秀作品展[3]、優秀賞[2]									100%		
専門	高校生の建築甲子園	日本建築学会	優秀賞[4]、準優秀賞[2]、その他入賞[2]									25%		50%
	日本建築学会設計競技	日本建築学会	優秀賞[3]、準優秀賞[2]、入賞[1]									25%		50%
専門	愛知建築士会学生コンペ	愛知建築士会	合格[10]、学科試験通過[4]									100%		
	二級建築士	建築技術教育普及センター	2級[1]									100%		
専門	OAD技術者2級	一般社団法人、コンピュータ教育振興協会	2級[1]									100%		
	3次元CAD利用技術者2級	一般社団法人、コンピュータ教育振興協会	2級[1]									100%		
専門	インテリア設計士2級	公益社団法人、インテリア産業協会	2級[4]									100%		
	インテリア設計士1級	一般社団法人、インテリア設計士協会	2級[4]									100%		
専門	インテリアデザイナー検定試験	日本インテリアデザイナー協会	[1]									100%		
	土地家屋調査士	日本土地家屋調査士会連合会	[6]									100%		
専門	施工管理技士2級(建設)	一般財団法人、建設業振興基金	[2]									100%		
	マンション管理士	公益財団法人、マンション管理センター	[1]									100%		

6.2 実践技術単位可視化サーバの導入

6.2.1 データベースのシステム構成

データベースの実装においては、汎用的な環境で動作可能にすると共に、データベースと Web サイトを分離できるようにした。ソフトウェアに関しても、広く使われている LAMP 環境で実現した。このため、サーバの OS は Linux 系 OS である Cent OS、Web の管理ソフトウェアは Apache、データベース管理システムは MySQL とした。また、プログラムは PHP および JavaScript によって記述した。実装においては、データベースへの接続と表示部分は別プログラムとした。この構成によりデータと見た目を分離しているため、将来的にデータベースを別の管理システムに移行することが容易である。また、プログラム間の通信は HTTP を用いて行い、XML または JSON 形式でデータをやり取りできるようにした。

利用者はこのデータベースに Web ブラウザを利用してアクセスすることになるが、本校の学生と教職員以外が閲覧、データの更新を行えることは好ましくない。そこでこのシステムの Web サイトは、学内の認証サーバを用いて、学生および教職員の認証を行うようにした。さらに、この認証完了後にユーザ名を取得できることから、教員用専用のページも設けることができるようになった。

6.2.2 データベースの構造

今回構築するデータベースの持つデータテーブルを表 6.2 にまとめる。ポイント項目の一覧を取得する頻度が高いため、ポイント項目ごとに ID を決定し、この一覧を point_list テーブルに格納した。一方で、各項目が持つ階級とポイント数は choice_list に格納し、登録時に選択式のリストが表示できるようにした。更新時に編集されるのは、acquisition_point テーブルで、登録されたすべてのポイントはここに記録されていく。このテーブルの構造を表 6.3 に示す。ポイント項目の ID の他、資格などの取得日、登録日、承認済み情報などが記録され、学生の ID で検索できるようになっている。

表 6.2 製作したデータベースのデータテーブル

No.	テーブル名	用途
1	point_list	認定ポイント項目とカテゴリー
2	choice_list	ポイントの階級とポイント数
3	acquisition_point	認定したポイントの一覧
4	meibo	学生名簿
5	access_log	データベースへのアクセス履歴
6	admingroup	管理者情報

表 6.3 acquisition_point テーブルの構造

カラム番号	テーブル名	用途
1	log_id	ログの番号
2	writer	登録者
3	student_ID	学生 ID(学籍番号)
4	point_ID	ポイント ID
5	point_grade_name	階級情報 (600 点以上, 2 級など)
6	point_value	ポイント数
7	acquisition_date	資格などの取得日
8	registration_date	登録日
9	memo	メモ
10	acceptation	学科認定済みフラグ
11	valid	有効無効フラグ

6.2.3 インタフェースの設計

製作したデータベースの画面遷移を図 6.1 にまとめる。ページにアクセスすると始めにログイン画面が表示され、ここに入力した ID とパスワードでユーザの認証と、教職員かどうかの判断を行う。学生と教職員で共通で利用可能な機能は、自分の獲得ポイントの確認、ポイントの申請、クラスにおける獲得ポイントの状況確認の三つとした。一方、教員専用の機能として、氏名入りで結果をダウンロードするページ、承認ページ、ポイントの一括登録ページを設けた。

ログイン画面を図 6.2 に示す。ここに学生は学籍番号とパスワード、教職員はメールアドレスと同名のアカウント名とパスワードを入力することでシステムにログインできる。ログインに成功するとホーム画面が表示される。図 6.3 に学生用のホーム画面を示す。赤枠で示したメニューからその他の画面へ移動することができる。

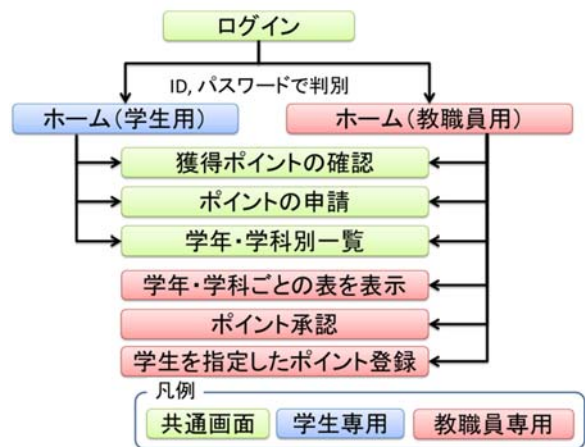


図6.1 システムの持つ画面とその遷移

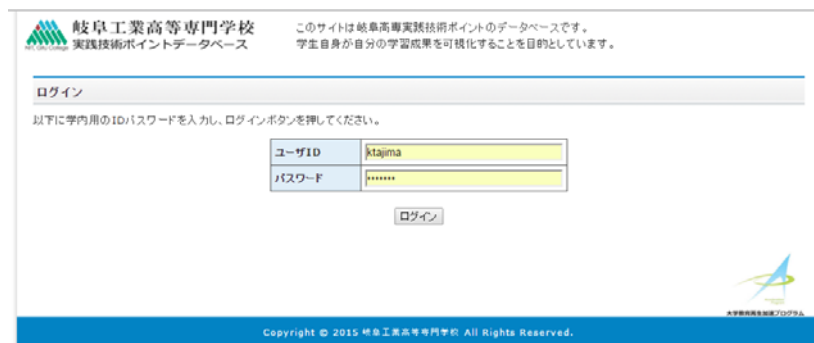


図6.2 ログイン画面



図 6.3 学生用ホーム画面

学生が獲得したポイントを表示するには、ホーム画面に表示された「獲得ポイントの確認」ボタンをクリックし、獲得ポイントの確認画面を開く必要がある。図 6.4 にこの画面を示す。これまでに獲得したポイントのリストが表として表示される。獲得済みのポイントの合計値は最下部に表示される。この際、学科が認定するポイントは、申請後に学科ごとの様式で書類などを提出する必要があり、提出後に学科長などによって承認される。この承認状況は色によって示され、承認前は赤字で、承認後は青文字で表示される。

岐阜工業高等専門学校
実践技術ポイントデータベース

こんにちは、田島孝治 さん。あなたは 学生 としてログインしています。
ログアウト

ホーム 獲得ポイントの確認 ポイントの申請 学年・学科別一覧 申請可能内容の確認

現在のポイント 数の確認

あなたがこれまでに取得したポイントは次のとおりです。
青い字のポイントは学科での認証済みのポイントです。
赤い字のポイントは学科での認証待ちのポイントです。

全取得ポイント

区分	名称	ポイント数	取得年月日	等級など
国立高专機構	高专体育大会			
	高专英語プレゼンテーションコンテスト			
	高专ロボットコンテスト:クラブチーム	2	2015-11-02	全国大会出場
	高专ロボットコンテスト:有志チーム			
	高专プログラミングコンテスト			
	高专デザインコンペティション			
	高专3Dプリンタコンテスト			
	高专将棋大会			
	校外実習			
	ものづくりリテラシー教育実習			
	岐阜高专校長表彰 学級指導者賞			
	岐阜高专校長表彰 成績優秀者			
	岐阜高专 若點表彰(校長表彰でない)			
合計		7		

(間は省略)

	土地家屋調査士			
	施工管理技士2級(建築)			
	マンション管理士			
合計		7		

学科認定ポイント数

上記の内、あなたの所属する学科で認定されたポイント数は「0」です。
各学科の認定ポイントについては、ポイント数一覧(PDFファイル)をご確認ください。

・ページのトップへ戻る

Copyright © 2015 岐阜工業高等専門学校 All Rights Reserved.

図 6.4 獲得ポイント確認画面

学生がポイントを登録するには、ホーム画面に表示された「ポイントの申請」ボタンをクリックし、詳細な情報を入力する必要がある。ポイントの登録画面を図6.5に示す。ポイントの項目の設定は、①-1に示した欄に検索ワードを入れてキーワードで検索する方法と①-2のリストから選択する方法を用意した。どちらかを利用してポイントの項目を決定し、等級を選択または入力すればポイント数が確定する。ここで、③のボタンをおせば登録が完了する。

岐阜工業高等専門学校 実践技術ポイントデータベース

こんにちは、田島孝治 さん。あなたは 学生 としてログインしています。 [ログアウト](#)

ホーム 獲得ポイントの確認 ポイントの申請 学年・学科別一覧 申請可能内容の確認

ポイントの新規登録

①-1 ポイントの項目の検索
キーワード

①-2 ポイントの詳細入力

区分	選択してください	ポイントの基準と入力例
名称	先に区分を選択してください	
等級など	先に名称を選択してください	
取得年月日	2015-12-23	
ポイント数	<input type="text"/>	
備考	<input type="text"/>	
③ <input type="button" value="登録"/>		

②

③

学科認定ポイント
各学科の認定ポイントについては、[ポイント数一覧\(PDFファイル\)](#)をご確認ください。

[ページのトップへ戻る](#)

Copyright © 2015 岐阜工業高等専門学校 All Rights Reserved.

図 6.5 ポイントの登録画面

他の学生やクラスの獲得状況を確認するには、ホームページに表示されるメニューの「学科・学年別一覧」ボタンをクリックし、学年と学科を選択する。すると図6.6のようなグラフが表示される。誰が何ポイントを獲得しているかは確認できない仕様だが、クラス内で自分がどの程度の位置にいるかは確認できる。

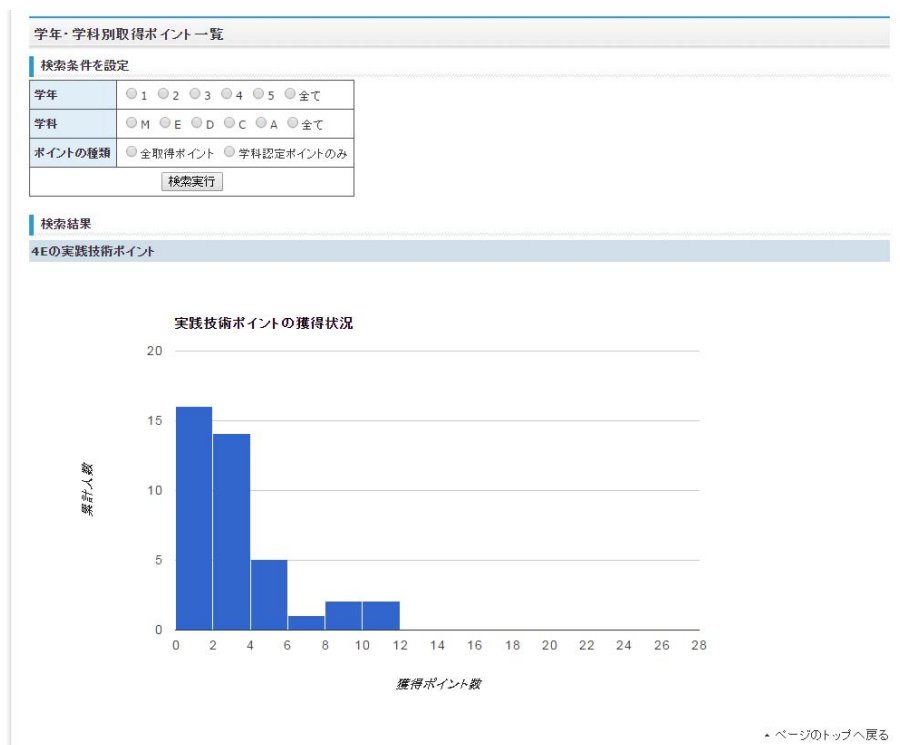


図 6.6 ポイントの獲得状況の表示画面(学生版)

教職員専用のページである「学年・学科を指定して獲得ポイントを確認」を図6.7に示す。学年と学科を選択すると、検索結果部分に該当するクラスの取得単位が表示される。表示結果をエクセルやCSV形式のデータとして利用したい場合には、この画面からダウンロードできる。また、青字になっている学籍番号をクリックすると、該当学生が取得した単位の一覧表を表示することができる。

検索実行

検索結果

4Eの実践技術ポイント

氏名をクリックすると個人データが表示できます。
 ダウンロード: [Excel形式](#) [CSV形式](#)
 ※このページからダウンロードできるXMLファイルはHTMLで書かれているため開く際に警告が出る場合があります。

学籍番号	名刺番号	氏名	学科認定ポイント累計	全ポイント累計
2012E01	1		4	4
2012E02	2		0	0
2012E03	3		1	1
2012E04	4		0	0
2012E05	5		0	0
2012E07	6		0	0
2012E09	7		1	1
2012E12	8		2	2
2012E13	9		0	0
2012E15	10		5	5
2014E61	11		0	0
2012E17	12		1	1
2012E18	13		0	0

図 6.7 クラスの取得単位一覧

6.2.4 平成27年度の実施状況

現在はポイント項目の整理が完了し、データベースも完成したため、学内専用の試験サーバで動作検証を行っている。電気情報工学科でこれまでに実施してきたポイントの獲得状況と、試験運用中のサーバに集約された同学科の学生のポイント数の比較を図 6.8 に示す。年度や学年ごとに人数に差があるため、累計ではなく一人当たりの平均ポイント数で比較した。第4学年、第5学年においては旧システムを利用しているため大きな差は見られないが、新システムを導入した1~3学年においては、特に第3学年で取得したポイント数が増加している。第3学年はコース分けに向けてポイントが利用されるため、例年登録されるポイント数が増加するが、本年度は特に著しい。来年度以降も、本校でのAL活用を推進し、取得ポイントの全校的な増加を目指していく。

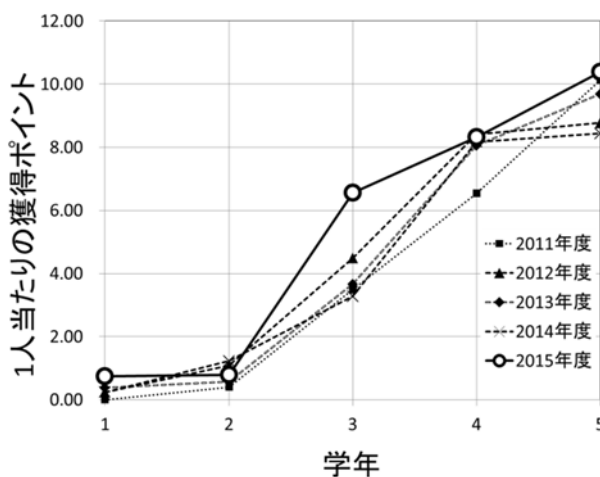


図6.8 各年度における一人当たりの獲得ポイントの推移